

1120		国際協力論	
英名科目名	International Cooperation		
大学名	龍谷大学		
連絡先	教育学部 TEL: 075-645-7891 FAX: 075-643-5021		
担当教員	神谷 祐介		
開講期間	2021年09月20日(月)～2022年01月17日(月) 4講時 15時15分～16時45分 毎週月・木曜日 9月20日(月)は祝日ですが、授業実施日です 10月18日(月)は学内行事のため休講です 12月22日(水)に月曜14回目の授業を実施します		
開講形態	後期・秋学期	開講曜日・講時	木曜日 4講時
単位数	4	履修年次	2年以上
会場	深草学舎		
授業定員			
単位互換生定員	20	京カレッジ生定員	10
試験・評価方法	平常点 100% (毎回の課題、グループワークやワークショップへの貢献度、プレゼンテーション、製作物を評価)		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料	60,000円 (単位互換履修生は不要)		
別途負担費用			
その他特記事項	<b>【会場】</b> 龍谷大学深草学舎 第1回目の教室については別途「お知らせ」欄に掲載します。		
パッケージ科目			
低回生受講推奨科目			
<b>講義概要・到達目標</b>			
<b>講義概要</b> 国際協力の仕組みと実際の活動について、アクティブ・ラーニング型授業の形式で体系的に学びます。本講義では、経済学が国際協力にいかに応用できるかという観点を重視します。 一連の講義を通じて、国際社会で起こっている諸問題とその原因、そして、問題解決に向けた国際協力の仕組みや活動内容について理解を深めること、国際協力の世界的な潮流(マクロ)と、現場のリアリティ(ミクロ)の双方を把握した上で、政府援助機関、国際機関、NGO、民間企業、市民社会組織、ボランティアといった様々な国際協力アクターが果たす役割を理解すること、国際協力活動の実際のオペレーションや評価について学ぶことを目的とします。			
<b>達成目標</b> 現代の国際協力の仕組みと活動を理解し、自分自身の生活との接点を考える。			
<b>講義方法</b> 講義では、国際社会で起こっている問題がより身近に感じられるよう、映像・メディア・統計データを活用します。また、体験型学習を通じて、五感を使って理解が深まるよう工夫をします。毎回授業中に課題を出して、手と頭を動かしてもらいます。			
<b>講義スケジュール</b>			
第1回 ガイダンス 第2回 SDGsとは? 第3-11回 国際社会で起こっている問題 第12-15回 貧困削減、所得格差 第16-19回 プロジェクトの経済評価 第20-22回 プロジェクトの効果測定 第23-24回 国際協力の変遷、政府開発援助(ODA)の実際 第25-29回 プロジェクト立案とプレゼンテーション 第30回 まとめ			
教科書	なし		
参考書	村上・渡辺(2019)『SDGs入門(日経文庫)』日		

本経済新聞出版社 ジェトロ・アジ研・高橋・黒岩・山形 (編)『テキストブック開発経済学 第3版』(2015)有斐閣 大塚啓二郎(2014)『なぜ貧しい国はなくなるのか：正しい開発戦略を考える』日本経済新聞出版社 カーラン&アベル(2013)『善意で貧困はなくなるのか?』みすず書房 パナジー&デュフロ(2012)『貧乏人の経済学』みすず書房
--